

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 浜松こども園		
○保護者評価実施期間	令和6年8月1日		令和6年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		令和6年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児保護者に対する個別支援	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問支援 個別面談 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の子育ての不安を和らげる。 保護者にも成功体験を味わってもらうようにする。
2	利用児の保護者に小集団・グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ももはなワーキンググループ(保護者対象・隔月1回) 療育参観会(月2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズを汲み取っていく。
3	就学支援・移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 年長児の併行通園の受け入れ 排泄マナー、水着への着替え方 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ、発達年齢によるクラス分け療育

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での合同研修、支援会議の時間の作りにくい。	送迎があったり、パートの職員もいる為サービス提供時間前後に全員が集まるのが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 月1回、曜日時間等を設定し、全員で話し合う時間を作るよう、考えていく。
2	地震や津波などの災害時に対する不安が強い。	海が近く海拔も低いため、砂地で地盤も弱く、液状化が心配される。	<ul style="list-style-type: none"> 近隣地域との災害活動への参加。 保護者への避難訓練の参加を促す。
3			